



むしに教わる森里海連環学

もり、さと、うみ。



日時 2008年3月15日(土) 13時~16時30分

講演 「虫から見える“森里海”連環」 養老 孟司(解剖学者・東京大学名誉教授)
「昆虫から見える地球温暖化」 藤崎 憲治(京都大学教授)

来賓講演 「蝶と環境」 村田 泰隆((株)村田製作所 代表取締役会長)

現地報告 ①仁淀川流域圏 柴田 昌三(京都大学教授)
②由良川流域圏 山下 洋(京都大学教授)
③古座川流域圏 梅本 信也(京都大学准教授)

「ムラタセイサク君」
も来るよ!

会場との対話 「むしに教わる森里海連環学」
司会:天野 礼子(アウトアライター)

挨拶 尾池 和夫(京都大学総長)
白山 義久(京都大学フィールド科学教育研究センター長)

同時開催

パネル展

村田泰隆撮影「蝶の写真」

フィールド研・昆虫COEの
活動紹介とフィールド研の
施設及び活動紹介

午前11時~
2階国際ホールにて 午前11時~

●会場：京都大学百周年時計台記念館 百周年記念ホール

●入場無料(一般公開)：定員 先着500名 申込 不要

●主催：京都大学フィールド科学教育研究センター 問い合わせは TEL.075-753-6414・6420 FAX.075-753-6451 E-mail:joho@kais.kyoto-u.ac.jp

●共催：21世紀COEプログラム「昆虫科学が拓く未来型食料環境学の創成」

●後援：京都府教育委員会(申請中)、京都市教育委員会(申請中)

●特別協賛：株式会社村田製作所

●協賛：京都・まいづる立命館地域創造機構、NPO法人エコロジー・カフェ、全日本空輸株式会社、サイファーアソシエーツ株式会社、株式会社大伸社(順不同)

第4回 時計台対話集会

“森里海連環学”が京都大学に誕生して丸5年が経ちました。この間、森と川と海とのつながりが、どのようにして成り立っているのか、その仕組みを明らかにしようと、さまざまな場所で、

フィールド研の名に恥じないよう、現場にでて現地調査に取り組んできました。今回の対話集会では、その成果の一端をご報告し、皆様方と、森里海のつながりを理解したうえで、荒唐の危機に瀕している日本の国土をどのようにすれば再生していけるのか、考えていきたいと思っております。

今回の集会のメインテーマは「むし」です。最近ブームとなっている昭和30年代、その頃を懐かしむ多くの方々にとって、つくしをとり虫を追いかけ、夕陽をながめた河原は、ごく当たり前の情景だったと思います。今回は、子供の頃そこに暮らす小さな生き物たちの姿の虜になった方々に、無機質な風景があまりにも多すぎる今の都市での生活のなかで「むし」との対話をどのように続けておられるのか、その悦びを大いに語っていただけたらと思います。多様な「むし」と出会える社会は、結局多様な自然が保全されている人と自然とが調和した社会といえるでしょう。

地球環境問題を中心課題とする洞爺湖サミットが開催される2008年は、地球環境と人間社会とのあるべきかかわりかたを模索する地球共生社会創世の元年と位置づけることができます。集会では皆さんと一緒に、そのような社会への道のりについて、考えていこうと思います。

講師等略歴



養老 孟司
ようろう たけし

●解剖学者、東京大学名誉教授

1937年、神奈川県鎌倉市生まれ。62年、東京大学医学部卒業後、解剖学教室に入る。81年同大医学部教授となり、95年に退官。著書は多数で、「からだの見方」でサントリー学芸賞を受賞。「バカの壁」は2003年のベストセラー第1位。生来の虫好きも高じて、以前から取り組んでいる環境問題にも力を注ぐ。



村田 泰隆
むらた やすたか

●(株)村田製作所 代表取締役会長

1947年、京都市生まれ。72年、ニューヨーク大学数理統計学科卒業。翌年、村田製作所に入社。91年、父・昭の後を受け社長に就任。2007年、会長。趣味は蝶の研究とクラシック音楽の鑑賞。日本鱗翅学会会員、日本蝶類学会理事、日本昆虫協会理事、日本自然科学写真協会会員。



藤崎 憲治
ふじざき けんじ

●京都大学大学院農学研究科教授

1947年、福岡県生まれ。78年、京都大学農学研究科博士課程単位取得退学。沖縄県農業試験場、岡山大学を経て、現職。専門は昆虫生態学、個体群生態学。昆虫の生態、とりわけ集合性、交尾戦略、生活史戦略などに焦点を当て、研究を展開。21世紀COE「昆虫科学が拓く未来型食料環境学の創生」の拠点リーダー。



柴田 昌三
しばた しゅうぞう

●京都大学フィールド科学教育研究センター副センター長・教授

1959年、京都市生まれ。07年より現職。専門は里山資源保全学、竹類生態学、緑化学。世界竹組織常任理事、日本造園学会理事、日本緑化学会理事、森林学会評議員等。荒唐が進む里山を対象に、多様性回復のための再利用に関する研究、拡大竹林の管理に関する研究等を行っている。



山下 洋
やました よう

●京都大学フィールド科学教育研究センター教授

1954年、鹿児島県生まれ。2003年から舞鶴水産実験所所長。魚類仔稚魚の成育の場としての河口域や沿岸浅海域の役割を研究してきた。由良川流域をフィールドに、森里海連環学研究を進めている。趣味は草サッカー、野草球、草テニス。



梅本 信也
うめもと しんや

●京都大学フィールド科学教育研究センター准教授

1959年、和歌山市生まれ。2005年より紀伊大島実験所所長。里域生態系の起源と系譜、照葉樹林ならびに黒潮文化圏における里域生物の保全、自然保護区における異形要素の管理などの研究を行っている。趣味は、旅行と各地各国料理複製、聞き取り。



天野 礼子
あまの れいこ

●アウトドアライター

1953年、京都市生まれ。中学、高校、大学を同志社に学ぶ。88年、文学の師・間高健とともに「川の国」のダムに警鐘を鳴らす国民運動を立ち上げ、育てた。近著は「林業再生 最後の挑戦」。04年から高知県で、森里海の連なりを取り戻す社会実験を展開中。有機農業への助力も開始した。

むしに教わる森里海連環学



会場までのアクセス



京都大学百周年時計台記念館 百周年記念ホール
※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

- 京都駅(JR・近鉄)から
市バス「京都駅前」より
206系統「東山通 北大路バスターミナル」行 約40分
「京大正門前」下車
- 阪急河原町駅から
市バス「四条河原町1」より
17系統「河原町通 錦林車庫」行 約40分
「百万遍」下車
- 阪急河原町駅から
市バス「四條河原町1」より
201系統「祇園 百万遍」行 約30分
「京大正門前」下車
- 京阪をご利用の場合
京阪「出町柳」駅下車 東へ徒歩約15分
- 31系統「熊野・岩倉」行 約30分
「京大正門前」下車

